

vol. 146



あおしん 景況レポート

2017 AUTUMN

〈実績〉平成 29 年 7 月～9 月期

〈見通し〉平成 29 年 10 月～12 月期



青木信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/aoshin/>

もくじ

■ 景気観測	1
■ 個別判断項目（業種別）	
総合	2
鑄造業	4
機械製造業	6
卸売業	8
小売業	10
建設業	12
不動産業	14
サービス業	16
■ 【特別調査】	
「中小企業経営と地域との関わりについて」	18
■ 経営上の問題点と当面の重点経営施策	20
■ あおしんトピックス	20

■ この調査について

1. 調査目的	川口市を中心とした最近の中小・小規模企業の動向把握
2. 調査時期	平成 29 年 9 月 1 日（金）～9 月 7 日（木）
3. 調査内容	平成 29 年 4 月～6 月期と比較した平成 29 年 7 月～9 月期の実績見込み 平成 29 年 7 月～9 月期と比較した平成 29 年 10 月～12 月期の予想
4. 調査方法	聞き取りによるアンケート調査
5. 調査対象	当金庫お取引先企業 301 企業、回答企業数 300 企業（回答率 99.7%）
6. 調査回答企業	鑄造業 28、機械製造業 38、その他製造業 49、卸売業 27、小売業 40、 建設業 45、不動産業 30、サービス業 43 先
7. 取りまとめ方法	DI（ディフュージョン・インデックス）方法 「増加」（増加＋やや増加）と回答した企業割合から、「減少」（減少＋やや減少） と回答した企業割合を差し引いた指数のことで、そのどちらかの企業割合 が多いかによって、景気が上向きか、下向きかを表します。
8. お問い合わせ先	青木信用金庫 地域振興部 川口市中青木 2-13-21 TEL 048-251-5880（代表）

景気観測



信金中央金庫 地域・中小企業研究所
角田 匠（つのだ たくみ）

《略歴》

1966 年 東京生まれ
1989 年 明治大学工学部卒業
1989 年 山一證券入社
同年 山一証券経済研究所・企業調査部配属（証券アナリストとして企業調査を担当）
1993 年 日本経済研究センター出向
1995 年 山一証券経済研究所・経済調査部に復帰（米国担当エコノミスト）
1998 年 山一証券経済研究所を退職
1998 年 全国信用金庫連合会（現在の信金中央金庫）へ入社
現在 信金中央金庫 地域・中小企業研究所にて日本経済の分析と予測を担当

《その他の対外活動》

週刊ダイヤモンド、金融財政事情など経済誌でのレポート執筆
日経 CNBC ゲストコメンテーター

テーマ：実質成長率は 2017 年度 1.7%、 2018 年度 1.3%と予想 ー世界的な景気回復の動きは国内経済にも波及ー

○17年4～6月の実質GDPは前期比0.6%増 （年率2.5%増）

家計のマインドが上向き、個人消費は前期比 0.8%増と高い伸びを示した。設備投資は 0.5%増と三四半期連続で増加した。一方、輸出はアジア向け電子部品の増勢一服で四半期ぶりのマイナスとなり、輸出から輸入を差し引いた純輸出は実質成長率を 0.3ポイント押し下げた。

○世界的な景気回復が波及してきたが、今後の景気回復ペースは緩やか

個人消費と設備投資を中心に内需の伸びが高まるなど、世界経済の回復が国内景気にも波及してきた。今後も好調な企業収益を背景に設備投資は堅調に推移しよう。輸出は足元で増勢一服となっているが、米国に続いて欧州経済も上向いてきたことから、徐々に回復の勢いを取り戻すとみられる。一方、賃金は依然として伸び悩んでおり、今後の個人消費はやや鈍化しよう。日本経済はこの先も回復基調を維持しようが、そのペースは緩やかにとどまると予想される。

○実質成長率は17年度1.7%、18年度1.3%と予想

17年度の実質成長率は 1.7%と前回予測（1.5%増）から上方修正した。内需の回復ペー

スが想定を上回って推移していることが主因である。ただ、賃金上昇に弾みが見つからないこともあって、民需主導による自律回復の動きが定着するまでにはなお時間を要するとみられる。今後の景気回復ペースは鈍化する公算が大きく、18年度の実質成長率は 1.3%と前回予測を据え置いた。

○物価上昇圧力は弱く、日銀は今後も現行の金融緩和策を継続

日銀は 17 年 9 月 20～21 日の金融政策決定会合で、金融政策の現状維持を決定した。個人消費が上向くなど国内経済は回復基調にあるものの、物価の動きが依然として弱いためである。黒田総裁も、「2%の物価安定の目標を実現するために、強力な金融緩和を粘り強く推進していく」と述べている。日銀は当面も現行の金融緩和策を維持する公算が大きい。

（注）本稿は 2017 年 9 月 21 日時点のデータに基づき記述されている。

総合

全業種の当期(7～9月期)の業況判断DIは▲6となり、前期(4～6月期)と比較して1ポイントの改善となった。「資金繰り」、「設備」で1ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」は2ポイント、「原材料・仕入価格」は1ポイントの上昇、「売上」、「収益」で1ポイントの悪化となる。来期(10～12月期)は、「業況」、「売上」で5ポイント、「収

益」、「資金繰り」で2ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」で2ポイントの上昇、「原材料・仕入価格」、「設備」で横ばいを予想している。全体的には、現状の景況感は横ばい傾向にあり、来期には緩慢ながらも回復傾向を予想している。

業況判断指数

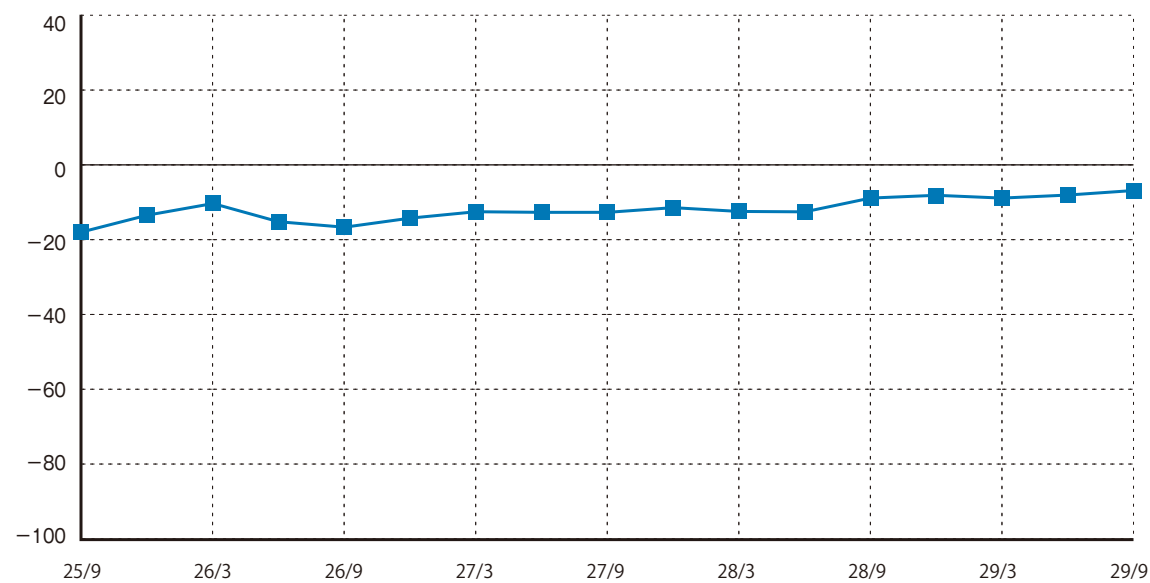
当期

▲6
(+1)

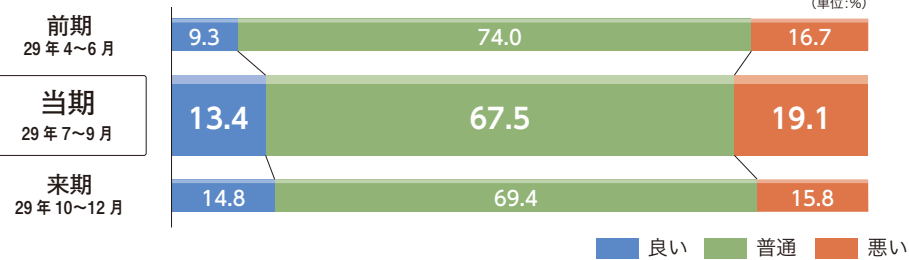
来期予想

▲1
(+5)

「業況DI」推移



業況



業況判断指数

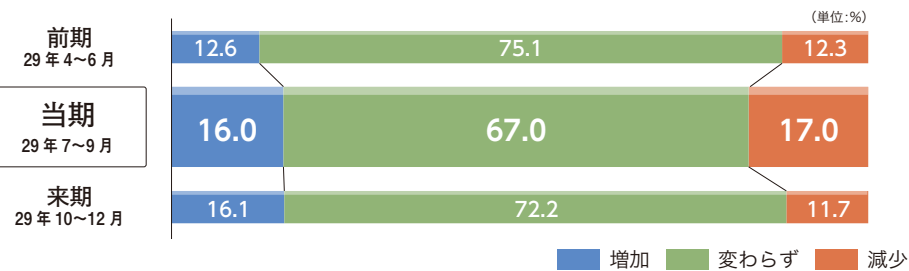
当期

▲6
(+1)

来期予想

▲1
(+5)

売上



業況判断指数

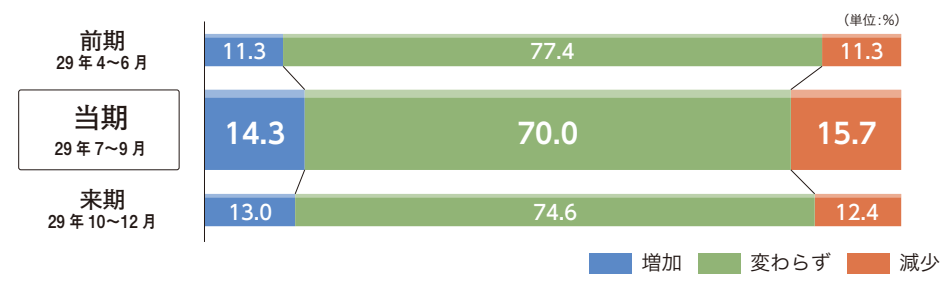
当期

▲1
(▲1)

来期予想

4
(+5)

収益



業況判断指数

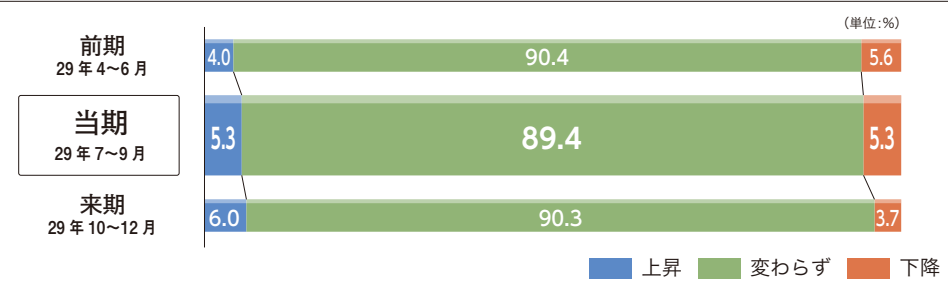
当期

▲1
(▲1)

来期予想

1
(+2)

販売・請負・料金価格



業況判断指数

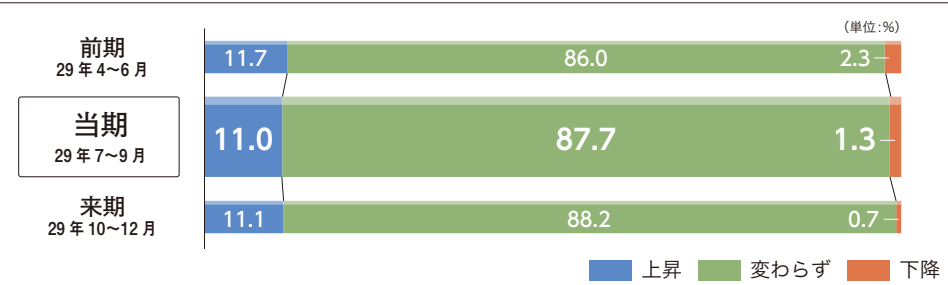
当期

0
(+2)

来期予想

2
(+2)

原材料・仕入価格



業況判断指数

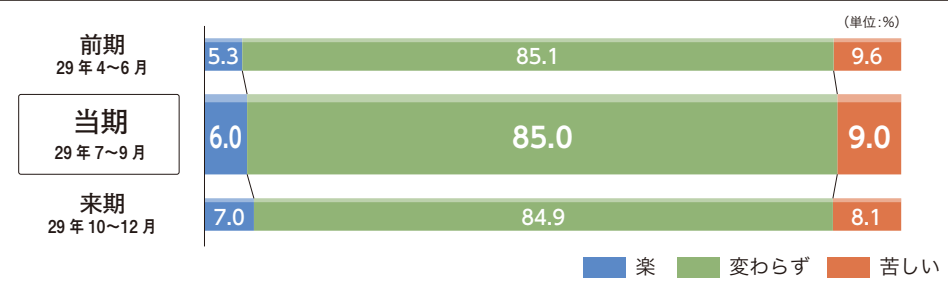
当期

10
(+1)

来期予想

10
(0)

資金繰り



業況判断指数

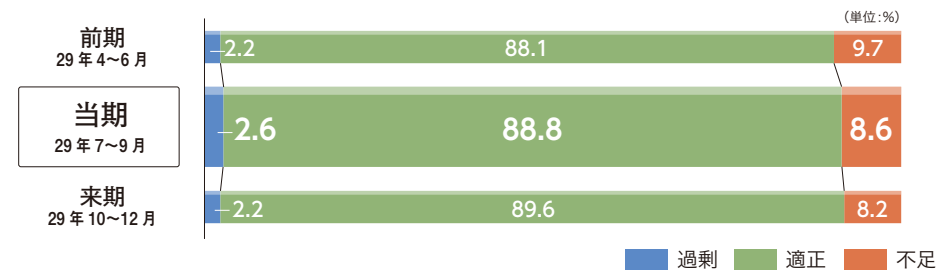
当期

▲3
(+1)

来期予想

▲1
(+2)

設備



業況判断指数

当期

▲6
(+1)

来期予想

▲6
(0)

アイコンの説明：😊 …DI値15以上 😊 …DI値14～5 😊 …DI値4～▲4 😊 …DI値▲5～▲14 😊 …DI値▲15以下
 ↗️ 「上 昇」 …当期より増加 → 「横ばい」 …当期から変化なし ↘️ 「下 降」 …当期より減少

⬆️ …プラスの数値 → …0 ⬇️ …マイナスの数値

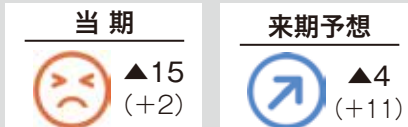
※カッコ内は前回調査との増減幅です。

鑄造業

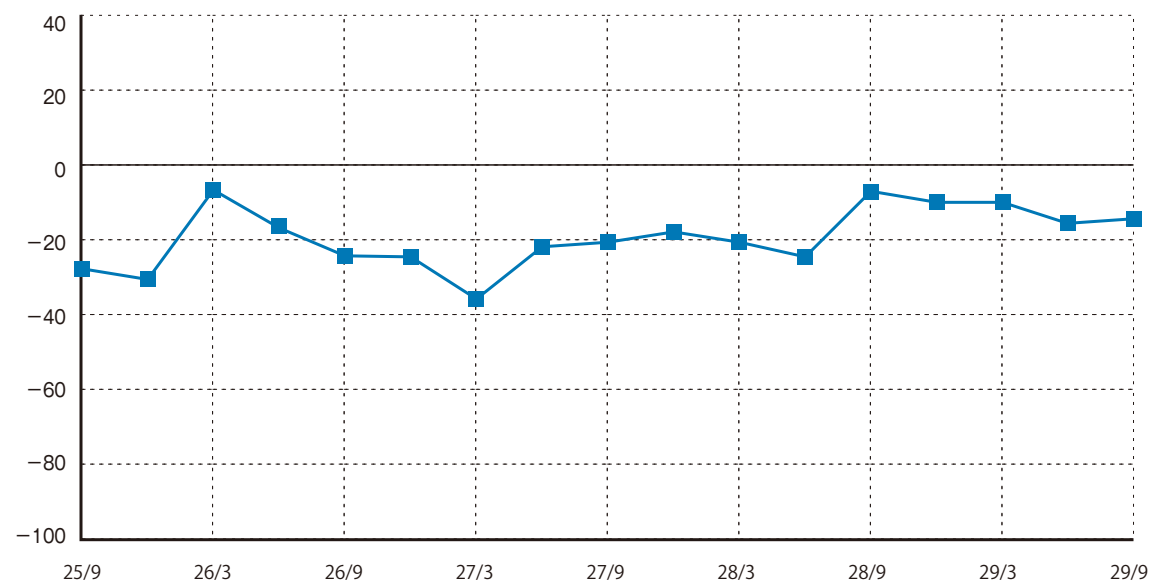
鑄造業の当期(7～9月期)の業況判断DIは▲15となり、前期(4～6月期)と比較して2ポイントの改善となった。「売上」で3ポイント、「資金繰り」で6ポイントの改善、「設備」で不足感が14ポイントの減少となる。「原材料・仕入価格」で3ポイントの下降、「収益」で4ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」は横ばいとなった。

来期(10～12月期)は、「業況」で11ポイントの改善、「収益」で3ポイントの悪化、「売上」、「販売・請負・料金価格」、「原材料・仕入価格」、「資金繰り」、「設備」で横ばいを予想している。

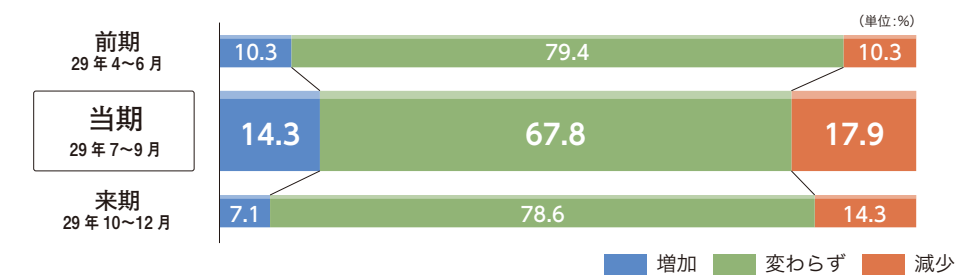
業況判断指数



「業況 DI」推移



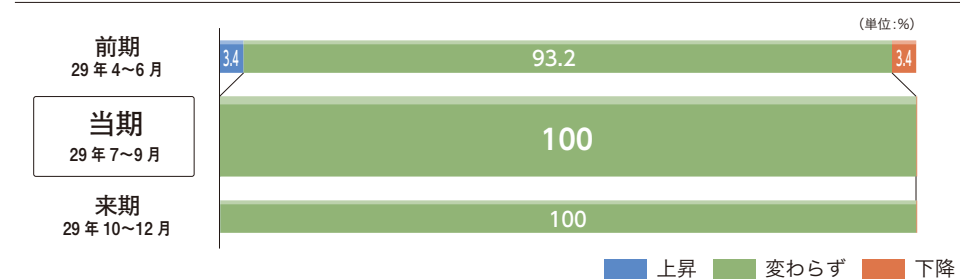
収益



業況判断指数



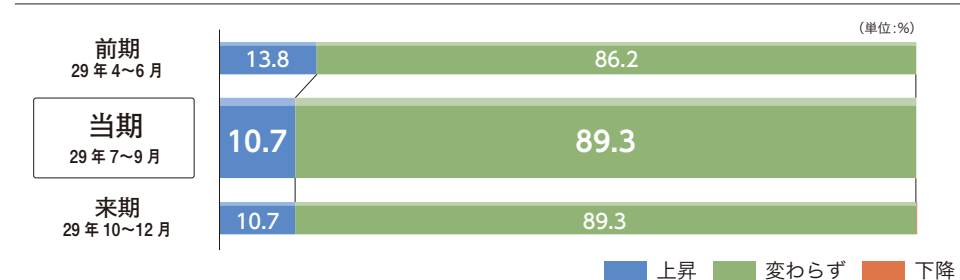
販売・請負・料金価格



業況判断指数



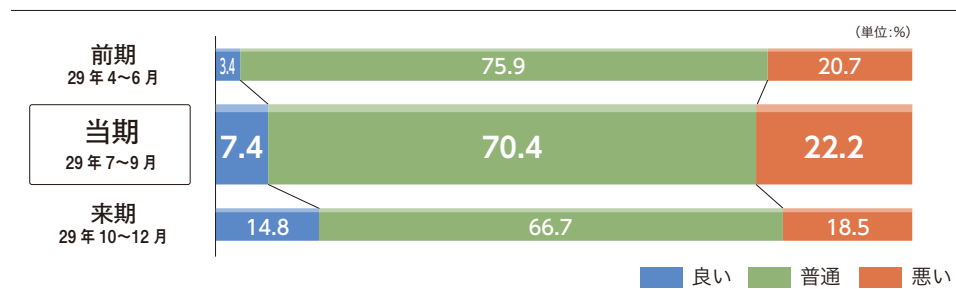
原材料・仕入価格



業況判断指数



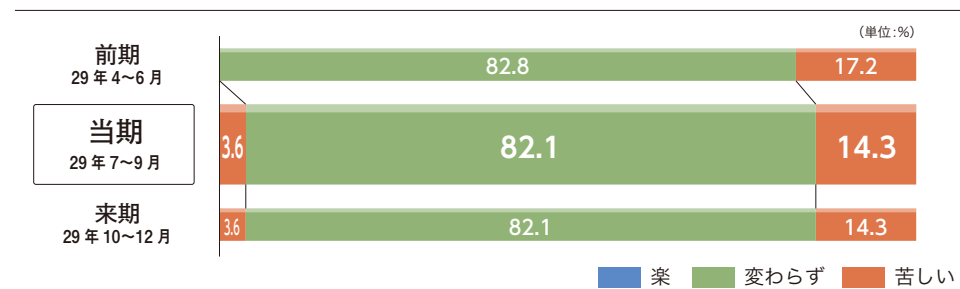
業況



業況判断指数



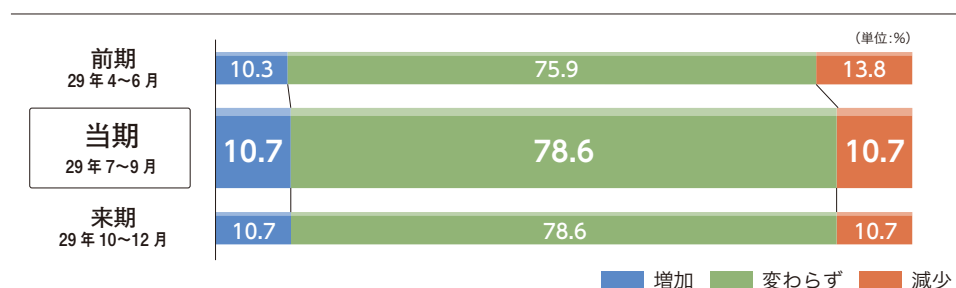
資金繰り



業況判断指数



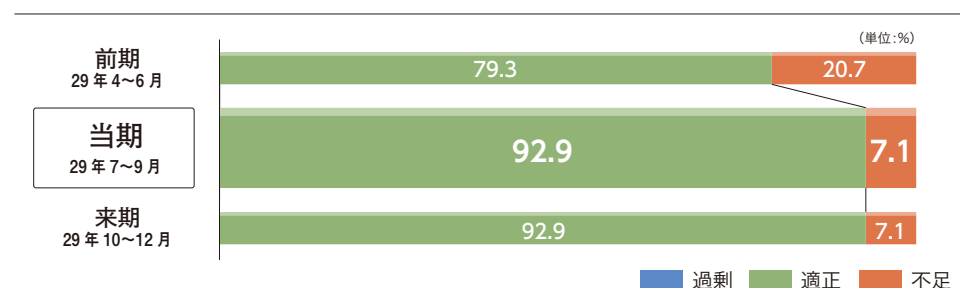
売上



業況判断指数



設備



業況判断指数



アイコンの説明:  …DI値 15 以上  …DI値 14～5  …DI値 4～▲4  …DI値▲5～▲14  …DI値▲15 以下

 「上 昇」…当期より増加  「横ばい」…当期から変化なし  「下 降」…当期より減少

 …プラスの数値  …0  …マイナスの数値

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

機械製造業

機械製造業の当期（7～9月期）の業況判断 DI は 16 となり、前期（4～6月期）と比較して 13 ポイントの良化となった。「売上」で 11 ポイント、「収益」で 10 ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」で 8 ポイント、「原材料・仕入価格」で 5 ポイントの悪化となる。「資金繰り」で 6 ポイントの悪化、「設備」で 13 ポイントのマイナスとな

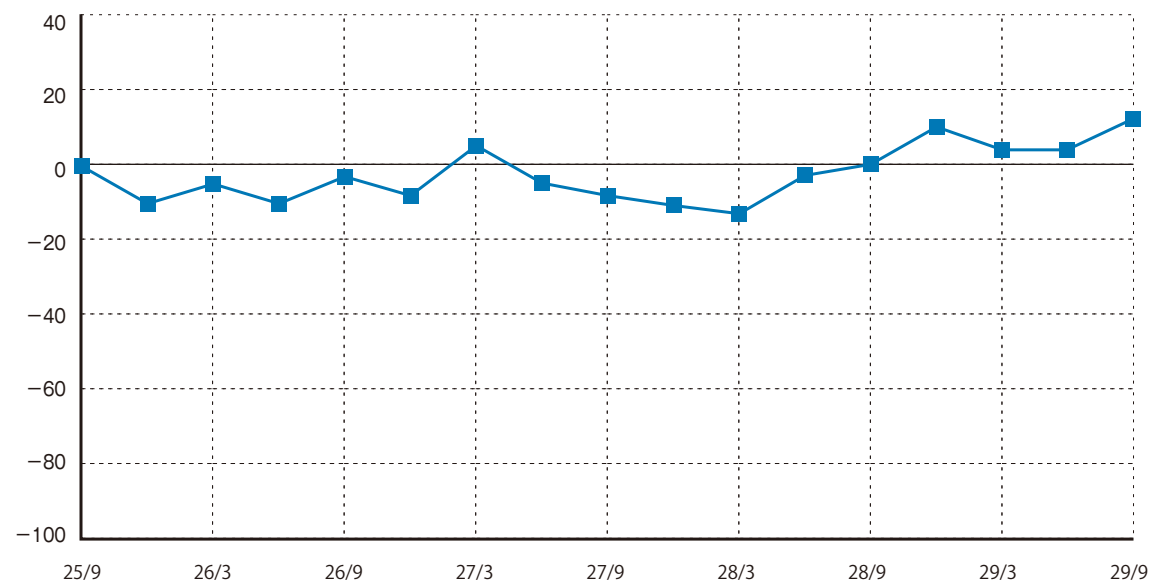
り不足感が増加している。

来期(10～12月期)は、「資金繰り」で 6 ポイントの改善、「設備」で不足感が 5 ポイントの減少、「業況」で 5 ポイント、「売上」で 11 ポイント、「収益」で 7 ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で 5 ポイントの下降、「原材料・仕入価格」は横ばいを予想している。

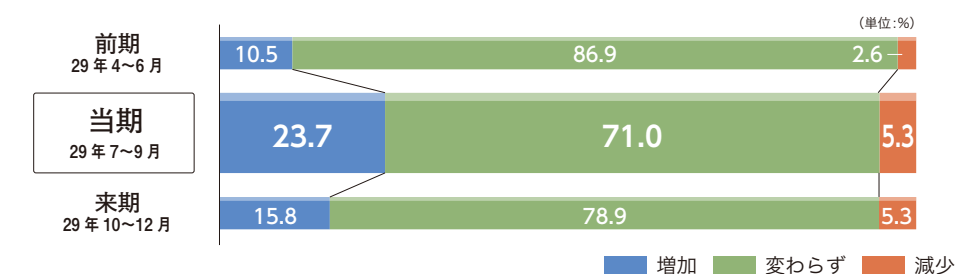
業況判断指数

当期	来期予想
 16 (+13)	 11 (▲5)

「業況 DI」推移



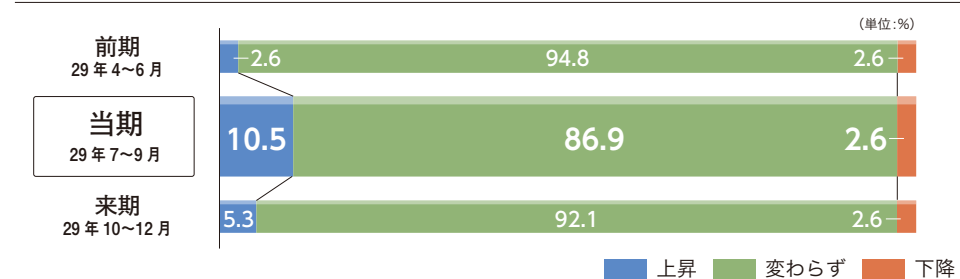
収益



業況判断指数

当期	来期予想
 18 (+10)	 11 (▲7)

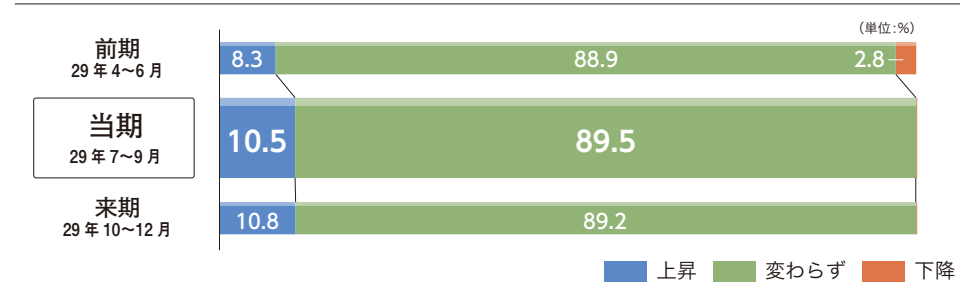
販売・請負・料金価格



業況判断指数

当期	来期予想
 8 (+8)	 3 (▲5)

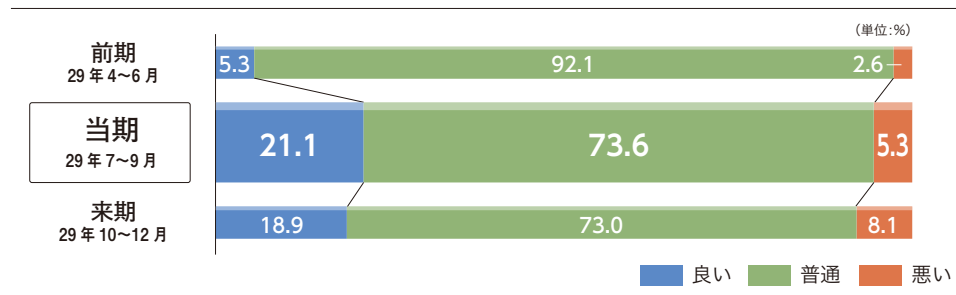
原材料・仕入価格



業況判断指数

当期	来期予想
 11 (+5)	 11 (0)

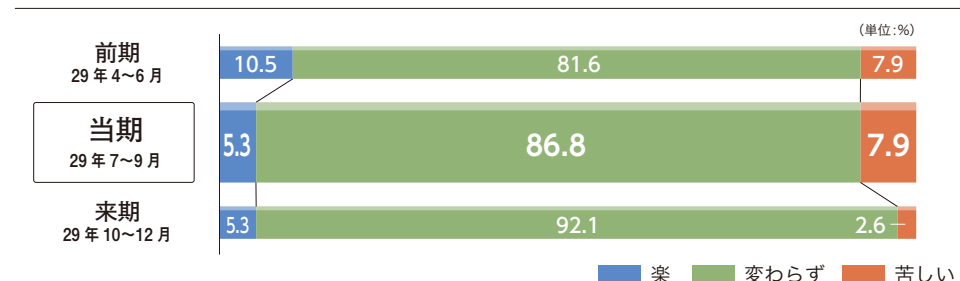
業況



業況判断指数

当期	来期予想
 16 (+13)	 11 (▲5)

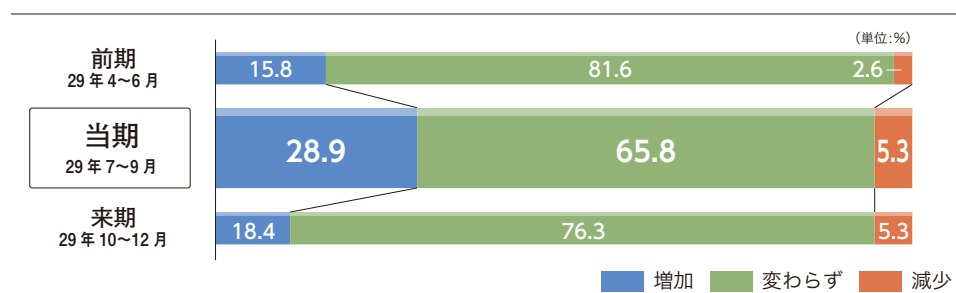
資金繰り



業況判断指数

当期	来期予想
 ▲3 (▲6)	 3 (+6)

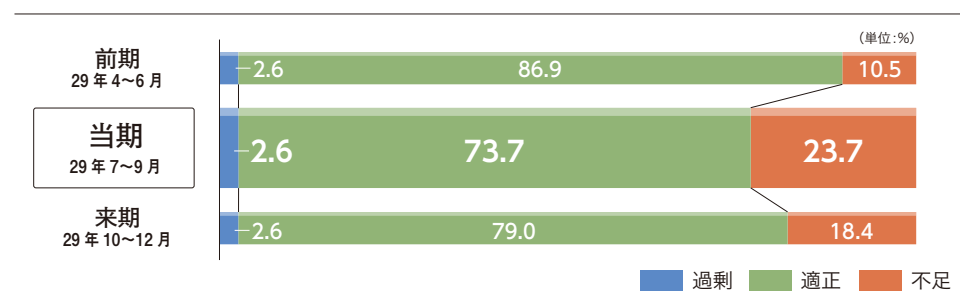
売上



業況判断指数

当期	来期予想
 24 (+11)	 13 (▲11)

設備



業況判断指数

当期	来期予想
 ▲21 (▲13)	 ▲16 (+5)

アイコンの説明:  …DI 値 15 以上  …DI 値 14～5  …DI 値 4～▲4  …DI 値▲5～▲14  …DI 値▲15 以下

 「上 昇」…当期より増加  「横ばい」…当期から変化なし  「下 降」…当期より減少

 …プラスの数値  …0  …マイナスの数値

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

OROSHIURI-GYOU

卸売業

卸売業の当期（7～9月期）の業況判断DIは0となり、前期（4～6月期）と比較し4ポイントの改善となった。「販売・請負・料金価格」で11ポイントの上昇、「設備」で不足感が4ポイントの減少となる。「売上」で3ポイント、「収益」で11ポイント、「資金繰り」で4ポイントの悪化、「原材料・仕入価格」は横ばいとなった。

来期（10～12月期）は、「業況」で7ポイント、「売上」で3ポイント、「収益」で11ポイントの改善、「原材料・仕入価格」で4ポイントの下降、「資金繰り」で3ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」、「設備」で横ばいを予想している。

業況判断指数

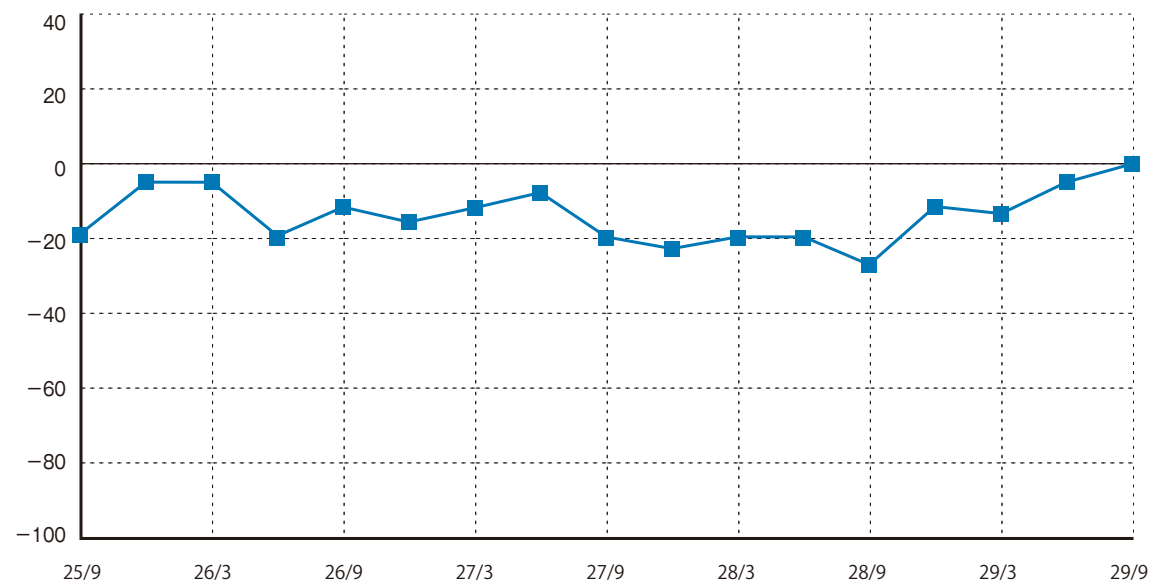
当期

 0
(+4)

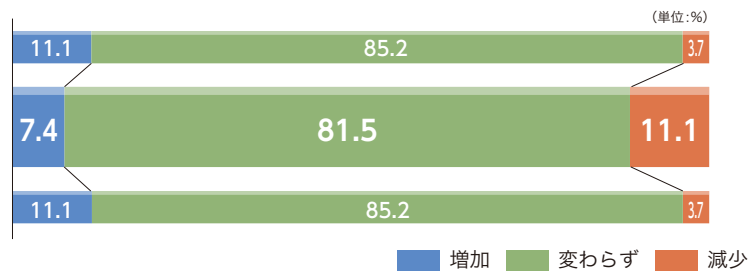
来期予想

 7
(+7)

「業況DI」推移



収益

前期
29年4～6月当期
29年7～9月来期
29年10～12月

業況判断指数

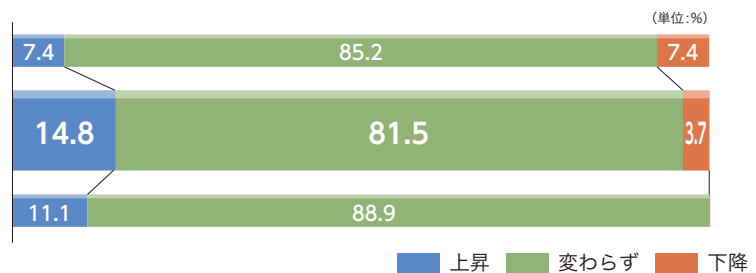
当期

 ▲4
(▲11)

来期予想

 7
(+11)

販売・請負・料金価格

前期
29年4～6月当期
29年7～9月来期
29年10～12月

業況判断指数

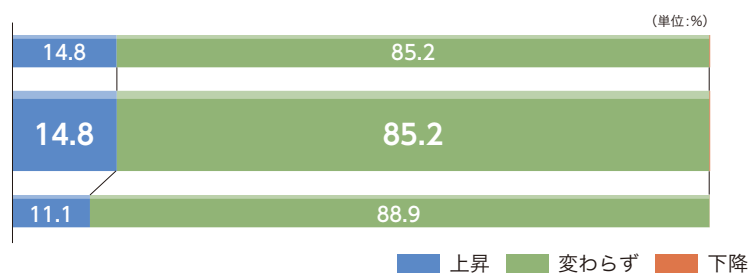
当期

 11
(+11)

来期予想

 11
(0)

原材料・仕入価格

前期
29年4～6月当期
29年7～9月来期
29年10～12月

業況判断指数

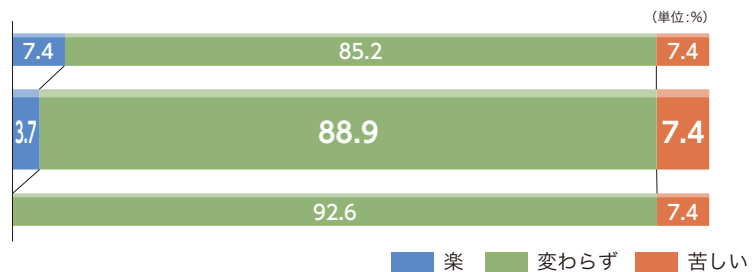
当期

 15
(0)

来期予想

 11
(▲4)

資金繰り

前期
29年4～6月当期
29年7～9月来期
29年10～12月

業況判断指数

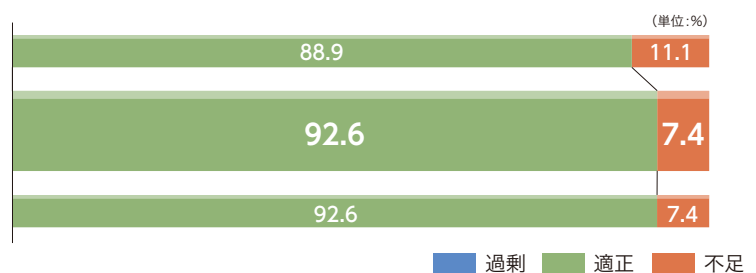
当期

 ▲4
(▲4)

来期予想

 ▲7
(▲3)

設備

前期
29年4～6月当期
29年7～9月来期
29年10～12月

業況判断指数

当期

 ▲7
(+4)

来期予想

 ▲7
(0)

アイコンの説明:  ...DI値 15 以上  ...DI値 14～5  ...DI値 4～▲4  ...DI値▲5～▲14  ...DI値▲15 以下

 「上 昇」 ...当期より増加  「横 ば い」 ...当期から変化なし  「下 降」 ...当期より減少

 ...プラスの数値  ...0  ...マイナスの数値

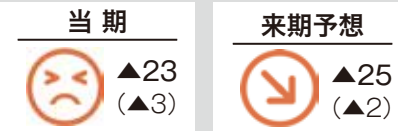
※カッコ内は前回調査との増減幅です。

小売業

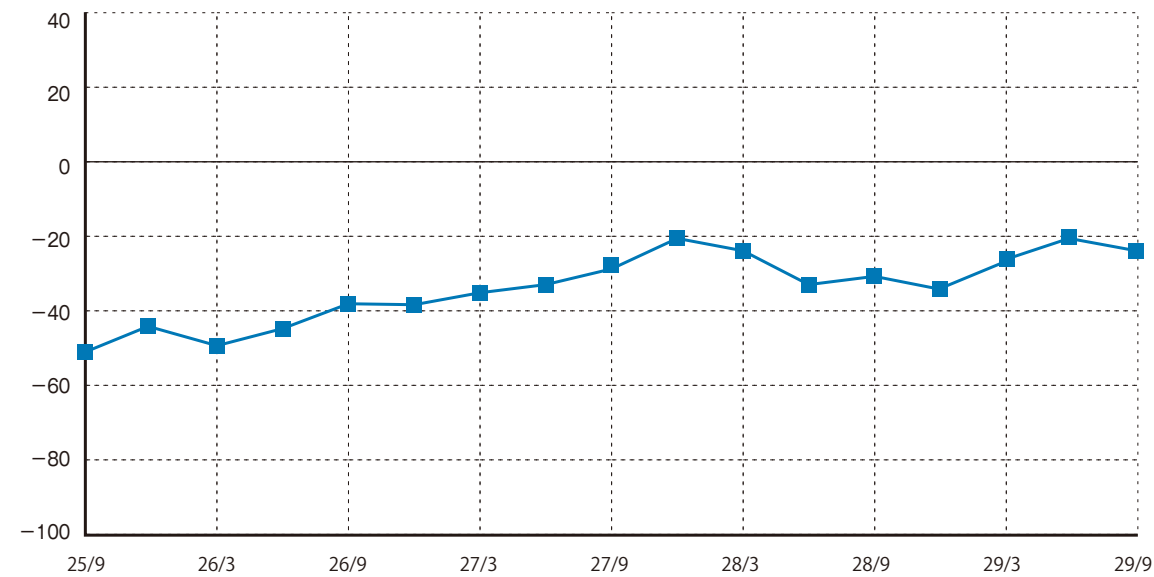
小売業の当期(7～9月期)の業況判断DIは▲23となり、前期(4～6月期)と比較して3ポイントの悪化となった。「売上」で13ポイント、「収益」で5ポイント、「資金繰り」で7ポイントの悪化、「原材料・仕入価格」で2ポイントの下降、「販売・請負・料金価格」、「設備」で横ばいとなった。来期(10～12月期)は、「資金繰り」で2ポイントの改善、

「販売・請負・料金価格」で13ポイント、「原材料・仕入価格」で15ポイントの上昇、「業況」で2ポイント、「売上」で3ポイントの悪化、「収益」、「設備」で横ばいを予想している。

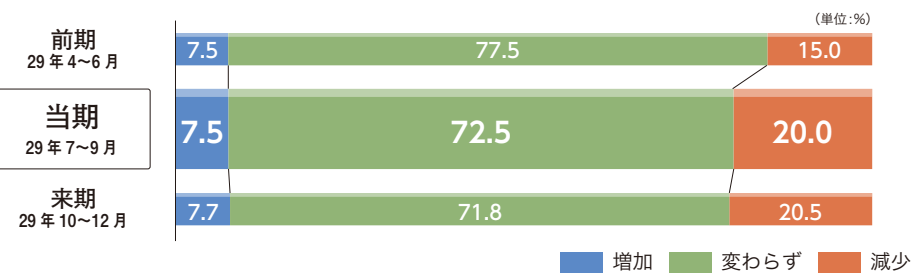
業況判断指数



「業況 DI」推移



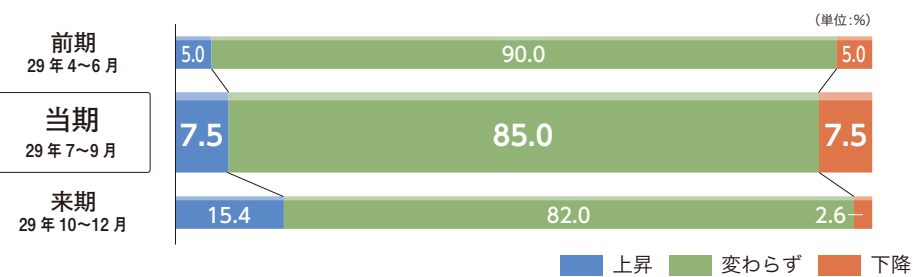
収益



業況判断指数



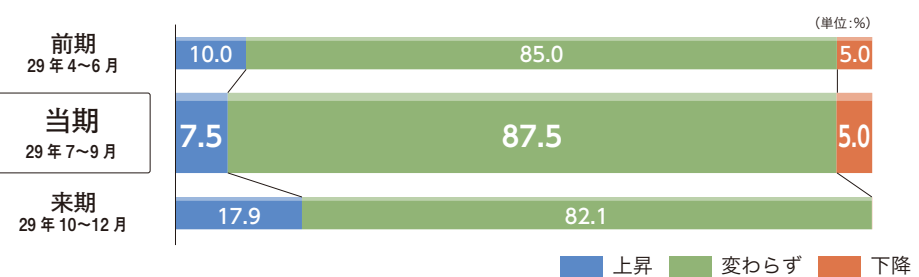
販売・請負・料金価格



業況判断指数



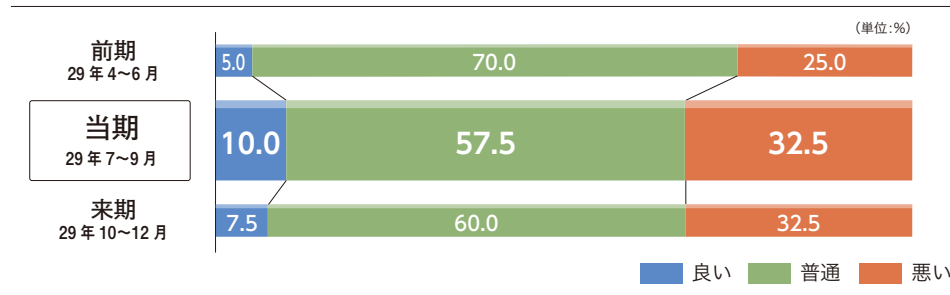
原材料・仕入価格



業況判断指数



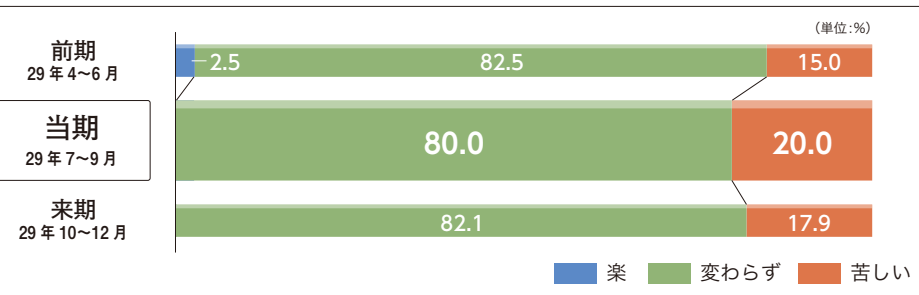
業況



業況判断指数



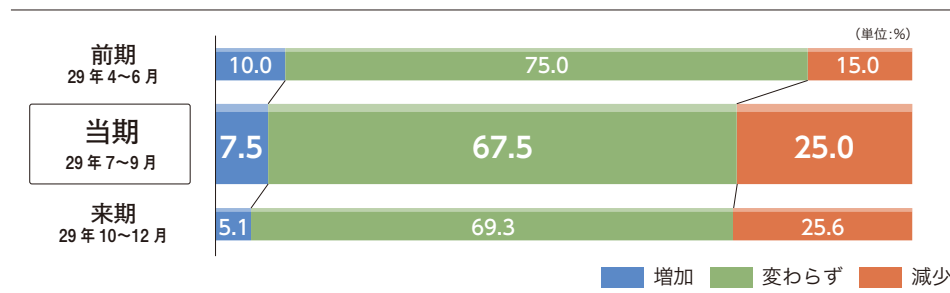
資金繰り



業況判断指数



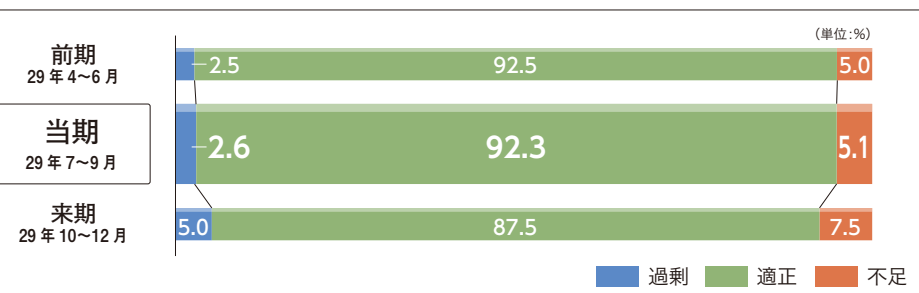
売上



業況判断指数



設備



業況判断指数



アイコンの説明: ...DI 値 15 以上 ...DI 値 14～5 ...DI 値 4～▲4 ...DI 値▲5～▲14 ...DI 値▲15 以下
 「上 昇」 ...当期より増加 「横ばい」 ...当期から変化なし 「下 降」 ...当期より減少

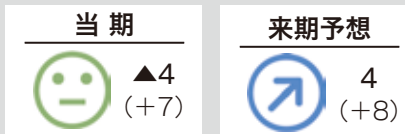
...プラスの数値 ...0 ...マイナスの数値

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

建設業

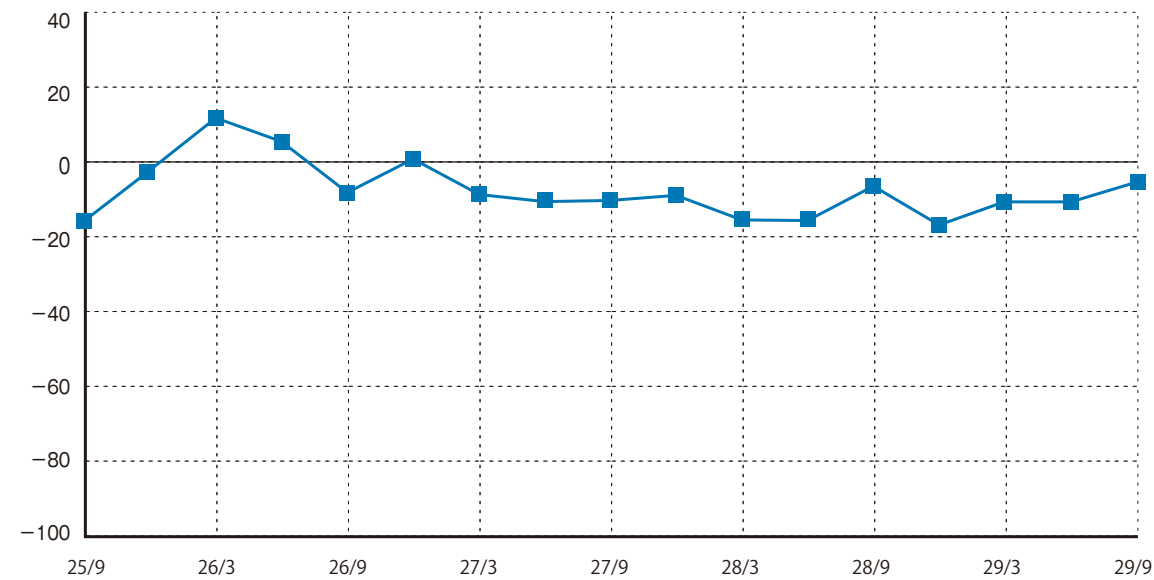
建設業の当期(7～9月期)の業況判断DIは▲4となり、前期(4～6月期)と比較して7ポイントの改善となった。「収益」で2ポイント、「資金繰り」で11ポイントの改善、「設備」で不足感が4ポイントの減少となる。「販売・請負・料金価格」、「原材料・仕入価格」で2ポイントの上昇、「売上」で3ポイントの悪化となった。

業況判断指数

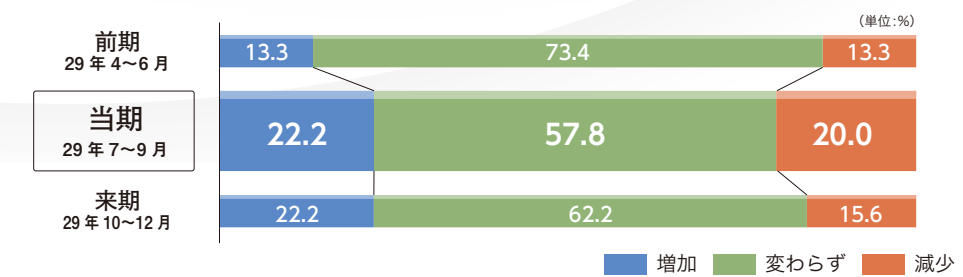


来期(10～12月期)は、「業況」で8ポイント、「売上」で16ポイント、「収益」で5ポイント、「資金繰り」で3ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」、「原材料・仕入価格」で2ポイントの下降、「設備」では2ポイント減少すると予想している。

「業況DI」推移



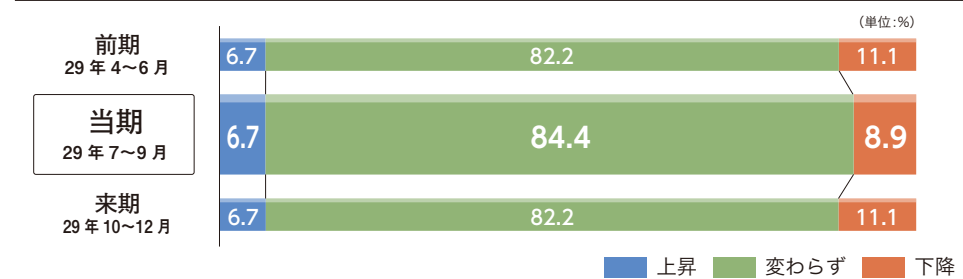
収益



業況判断指数



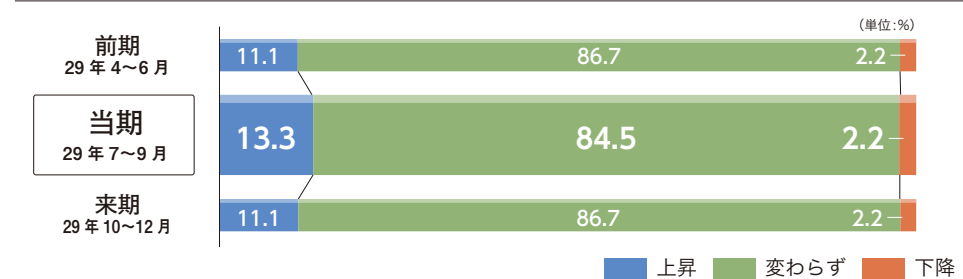
販売・請負・料金価格



業況判断指数



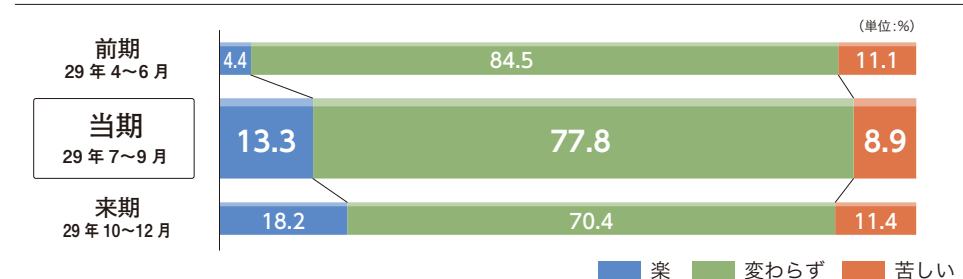
原材料・仕入価格



業況判断指数



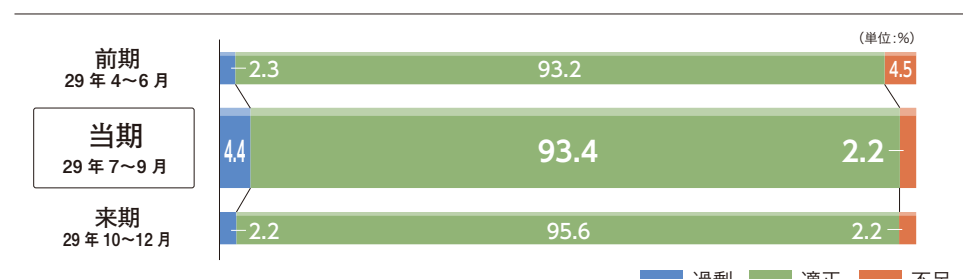
資金繰り



業況判断指数



設備



業況判断指数



アイコンの説明:
 ☺ …DI値15以上 ☺ …DI値14～5 ☺ …DI値4～▲4 ☹ …DI値▲5～▲14 ☹ …DI値▲15以下
 ↗ 「上 昇」 …当期より増加 → 「横 ばい」 …当期から変化なし ↘ 「下 降」 …当期より減少

↑ …プラスの数値 → 0 ↓ …マイナスの数値

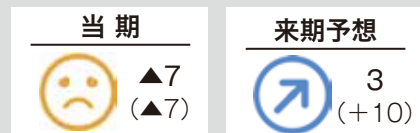
※カッコ内は前回調査との増減幅です。

不動産業

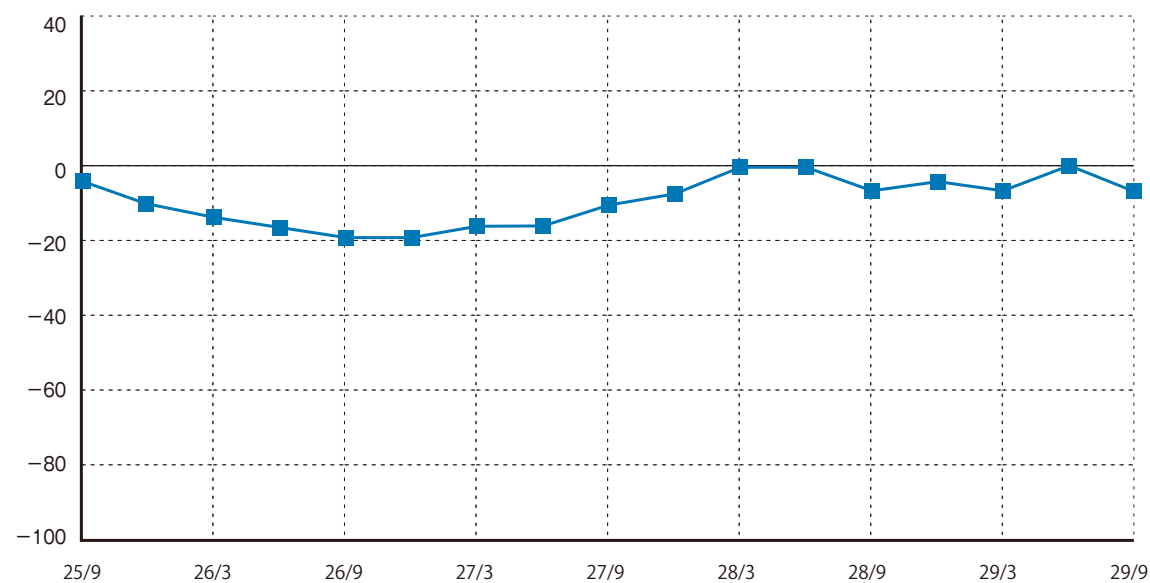
不動産業の当期（7～9月期）の業況判断DIは▲7となり、前期（4～6月期）と比較して7ポイントの悪化となった。「資金繰り」で3ポイントの改善、「売上」で10ポイント、「収益」で7ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で7ポイントの下降、「原材料・仕入価格」で横ばいとなった。

来期（10～12月期）は、「業況」で10ポイント、「売上」で7ポイント、「資金繰り」で3ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」で3ポイントの上昇、「収益」「原材料・仕入価格」で横ばいを予想している。

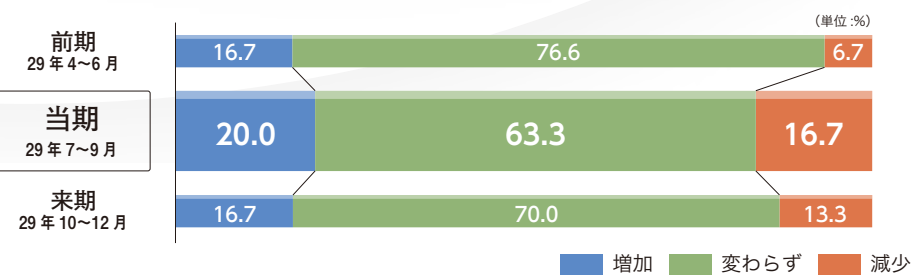
業況判断指数



「業況DI」推移



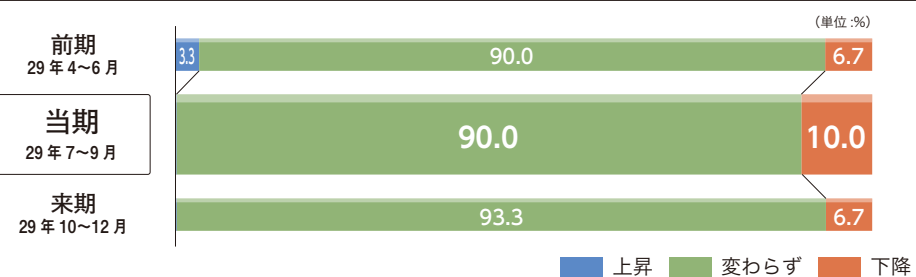
収益



業況判断指数



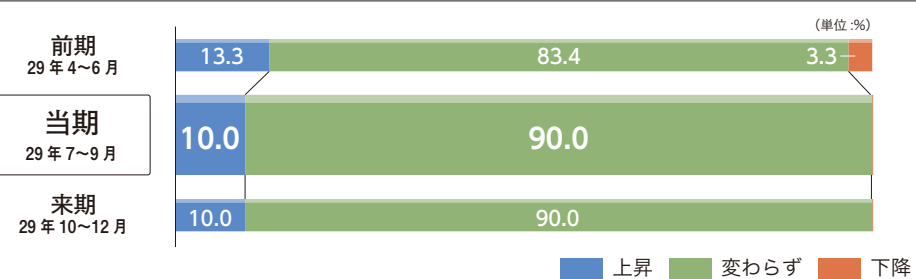
販売・請負・料金価格



業況判断指数



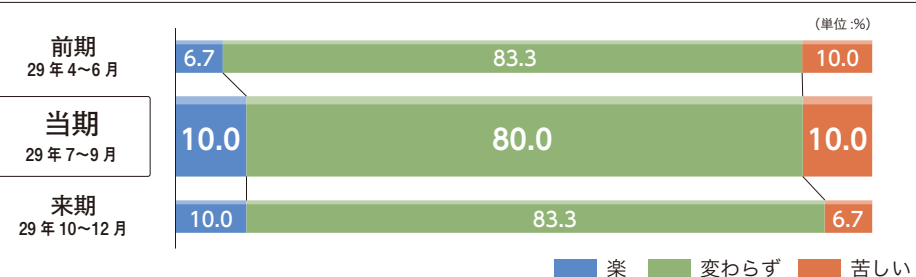
原材料・仕入価格



業況判断指数



資金繰り



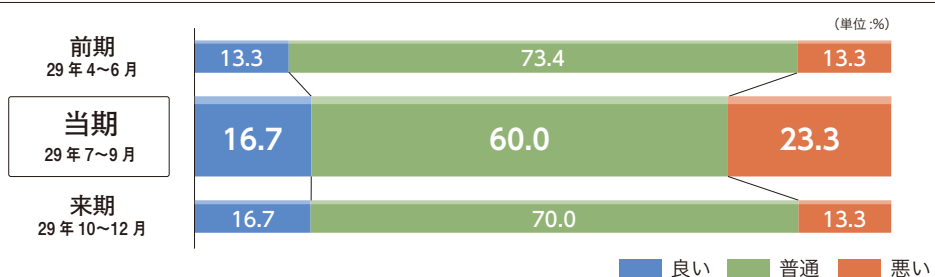
業況判断指数



▲ …プラスの数値 ■ …0 ▼ …マイナスの数値

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

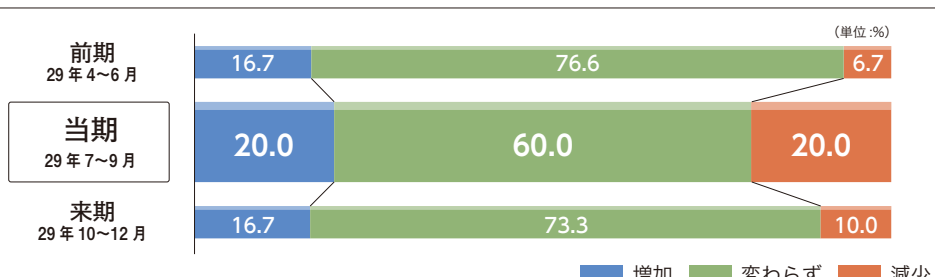
業況



業況判断指数



売上



業況判断指数



アイコンの説明：😊 …DI値15以上 😊 …DI値14～5 😊 …DI値4～▲4 😊 …DI値▲5～▲14 😊 …DI値▲15以下
 ↗ …「上 昇」 …当期より増加 → …「横ばい」 …当期から変化なし ↘ …「下 降」 …当期より減少

サービス業

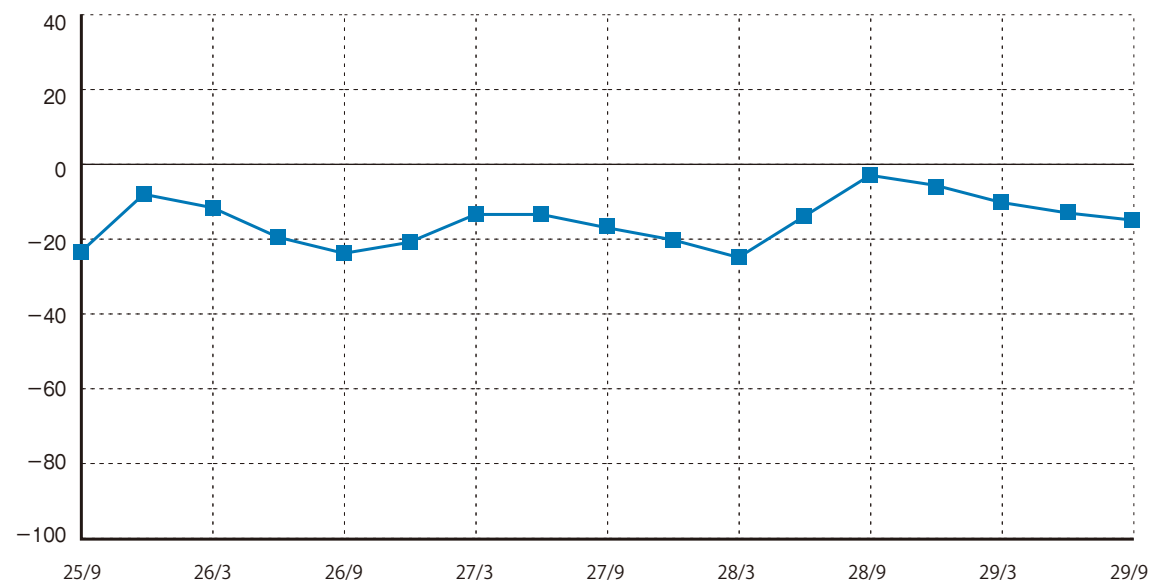
サービス業の当期（7～9月期）の業況判断DIは▲16となり、前期（4～6月期）と比較して2ポイントの悪化となった。「設備」で不足感が5ポイントの減少、「売上」で9ポイント、「収益」で7ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」、「原材料・仕入価格」、「資金繰り」で横ばいとなった。

来期（10～12月期）は、「業況」で9ポイント、「売上」、「収益」で16ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」で12ポイントの上昇、「原材料・仕入価格」、「資金繰り」、「設備」で横ばいを予想している。

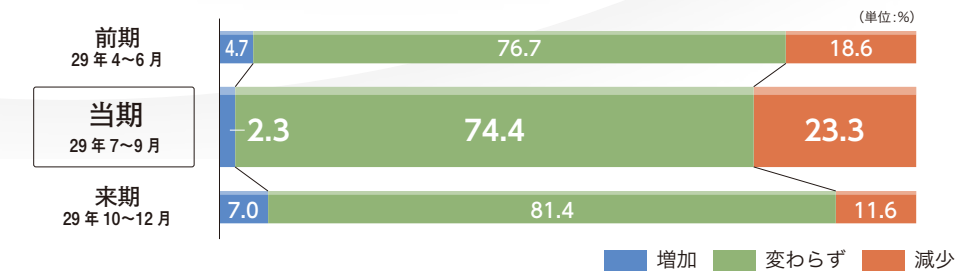
業況判断指数



「業況DI」推移



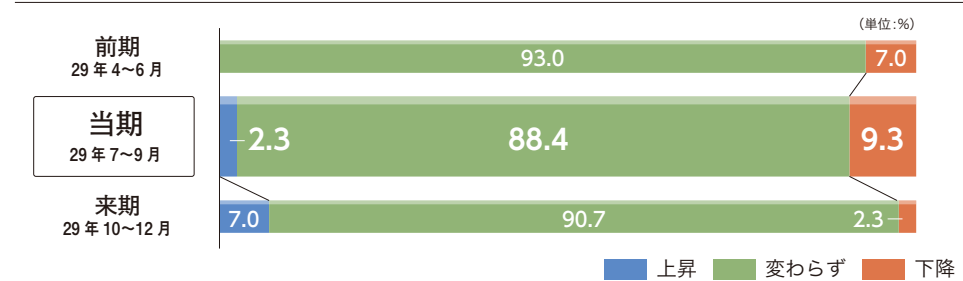
収益



業況判断指数



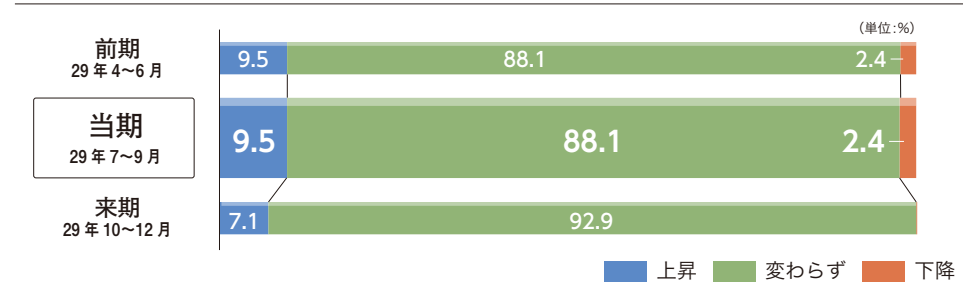
販売・請負・料金価格



業況判断指数



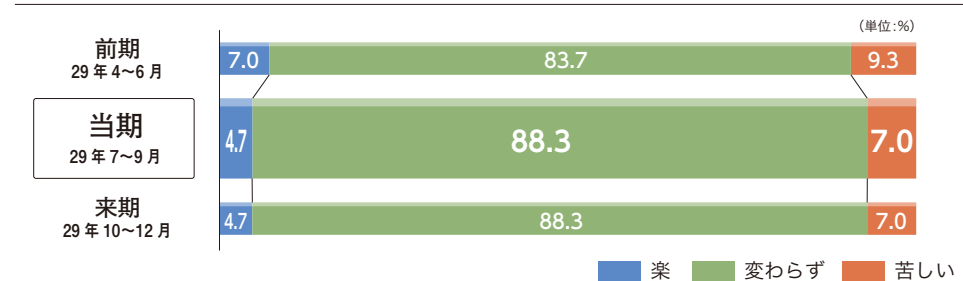
原材料・仕入価格



業況判断指数



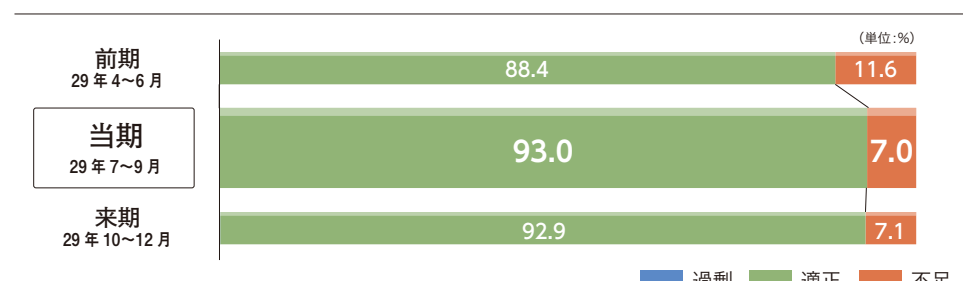
資金繰り



業況判断指数



設備



業況判断指数



アイコンの説明:
 😊 …DI値15以上 😊 …DI値14～5 😊 …DI値4～▲4 😊 …DI値▲5～▲14 😊 …DI値▲15以下
 ↗ …「上 昇」…当期より増加 → …「横ばい」…当期から変化なし ↘ …「下 降」…当期より減少

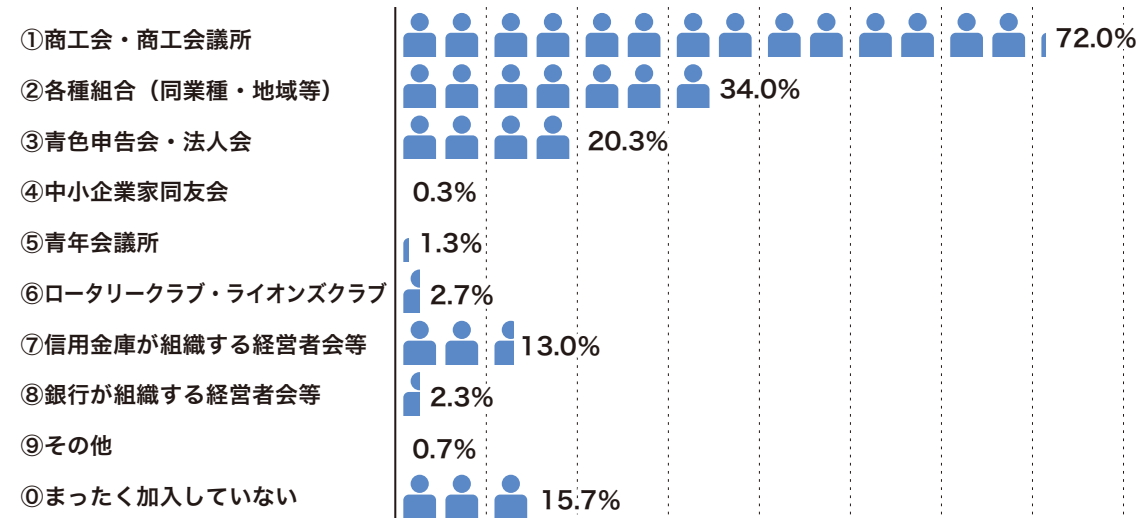
↑ …プラスの数値 → …0 ↓ …マイナスの数値

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

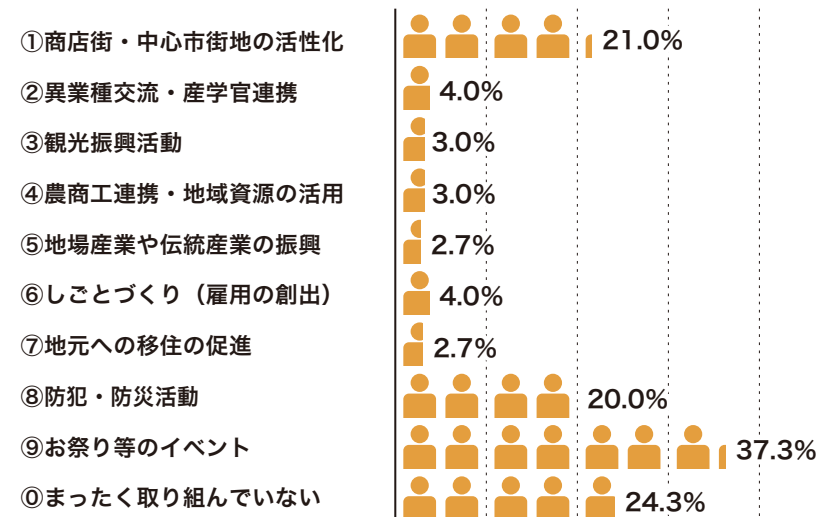
特別調査

中小企業経営と地域との関わりについて

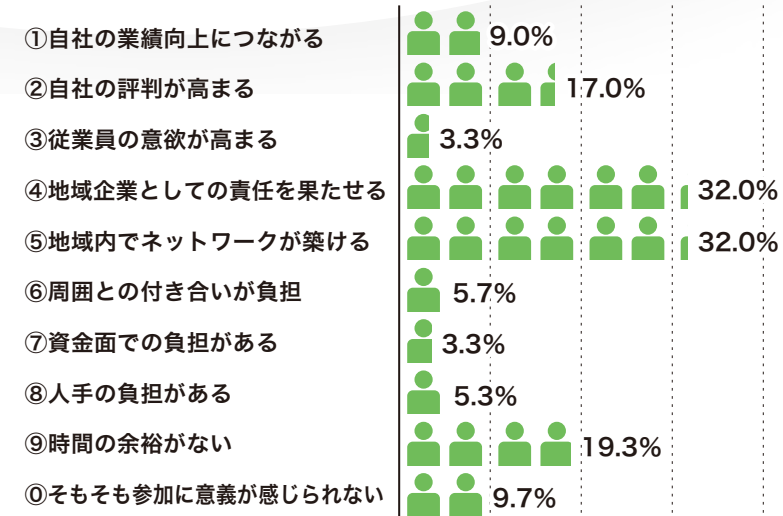
問 1. 貴社では、以下に列挙する団体等に参加していますか。①～⑩の中から**3つ以内**でお答えください。なお、4つ以上の団体等に参加している場合は、その中でも経営に役立っていると感じている団体等を**3つ以内**で選んでお答えください。



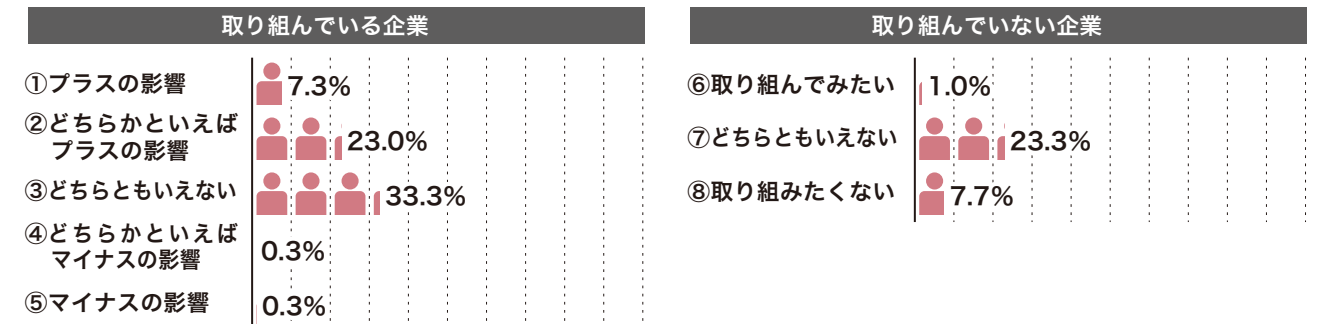
問 2. 貴社が地域経済との関わりの中で取り組んでいる、あるいは協力・協賛している地域での活動について、①～⑩の中から**3つ以内**でお答えください。



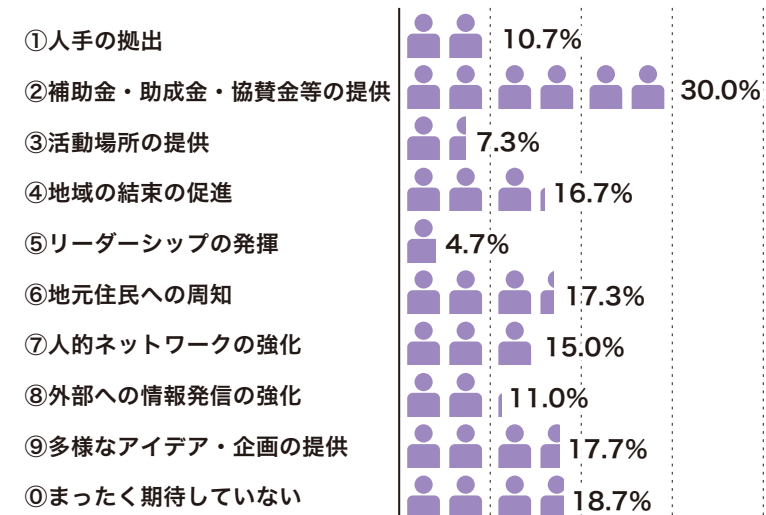
問 3. 貴社では、問 2 で挙げたような各種地域活動への参加に対して、どのようなイメージをお持ちですか。①～⑩の中から**3つ以内**でお答えください。



問 4. 問 2 で挙げたような各種地域活動について、何らかの活動に取り組んでいる場合は、その活動が自社の経営あるいは事業に及ぼしている影響を①～⑤の中からお答えください。また、活動に取り組んでいない場合は、今後の活動への取組みの意向を⑥～⑧の中からお答えください。

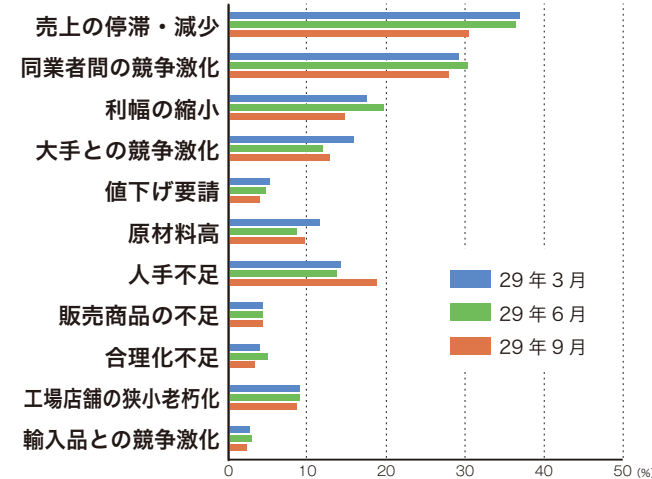


問 5. 今後、地域での各種活動がさらに活発化していくために、地元自治体や地域金融機関に期待することはありますか。①～⑩の中から**3つ以内**でお答えください。

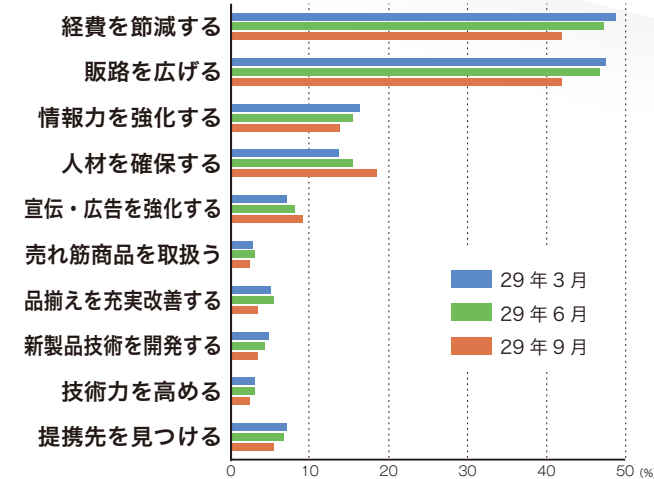


経営上の問題点と当面の重点経営施策

経営上の問題点集計結果（全業種）



当面の重点経営施策（全業種）



あおしん が皆さまの経営を 全力でサポートいたします！

お客さまの経営課題解決に向けた
情報のご提供やご提案をさせていただきます。

事業承継
M&A

創業
新事業展開

販路拡大
ビジネスマッチング

青木信用金庫 経営支援メニュー

経営改善
事業再生

補助金・助成金
の活用

海外展開

あおしんトピックス

「働き方改革にかかる包括連携協定」を締結

当金庫は、県内の4信用金庫合同で、厚生労働省埼玉労働局と、埼玉県内の「働き方改革」のより一層の推進を図るため、「働き方改革にかかる包括連携協定」を平成29年7月31日に締結しました。

本協定は県内の4信用金庫と埼玉労働局が密接に連携し、埼玉県内の労働者の働き方改革を推進することを目的としています。こうした取り組みを通じて、お取引先企業の経営サポートを始め、お客様へ幅広いサービスを提供し、地域経済の発展に貢献してまいります。



「第6回 新現役交流会」開催

平成29年8月24日川口駅前市民ホール「フレンジア」にて「第6回新現役交流会」が開催されました。新現役とは、大企業等で活躍された企業OBであり、長年の経験を基に、当金庫のお客様の様々な経営課題の解決に対応します。今回で6回目の開催となりましたが、当金庫は平成25年1月28日に埼玉県内の金融機関として最初に取り組み、毎年度1回実施しております。

今回は、27社の当金庫のお客様と84名の新現役が参加し、活発な面談が行われました。新現役交流会は、当金庫が行う地域中小企業を対象とした支援施策であり、今後も引き続き開催してまいります。



●営業地区及び店舗配置図（埼玉県内28市3町2郡・東京都内4区1市）

店 舖 一 覽

①本店営業部	〒332-0032	川口市中青木 2-13-21	℡048-251-5880	⑳芝 支 店	〒333-0855	川口市芝西 2-26-24	℡048-261-5211
②北 支 店	〒333-0845	川口市上青木西 5-27-15	℡048-266-6000	㉑蕨 支 店	〒335-0001	蕨市北町 1-23-15	℡048-444-1331
③鳩ヶ谷支店	〒334-0002	川口市鳩ヶ谷本町 2-1-3	℡048-281-4003	㉒南浦和支店	〒336-0025	さいたま市南区文蔵 2-21-4	℡048-863-8111
④西川口支店	〒332-0021	川口市西川口 2-1-20	℡048-252-4665	㉓指 扇 支 店	〒331-0073	さいたま市西区指扇領別所 382-2	℡048-623-6911
⑤蕨駅前支店	〒333-0851	川口市芝新町 7-5	℡048-265-1831	㉔尾間木支店	〒336-0926	さいたま市緑区東浦和 7-32-16	℡048-874-3511
⑥並木町支店	〒332-0034	川口市並木 4-1-18	℡048-251-0260	㉕大 宮 支 店	〒330-0855	さいたま市大宮区上小町 803-1	℡048-645-8551
⑦浦和 支 店	〒336-0931	さいたま市緑区原山 2-25-21	℡048-882-2051	㉖上 尾 支 店	〒362-0045	上尾市向山 2-1-4	℡048-725-5311
⑧南 平 支 店	〒332-0003	川口市東領家 2-1-1	℡048-222-1260	㉗新 座 支 店	〒352-0001	新座市東北 2-2-11	℡048-472-4311
⑨谷 塚 支 店	〒340-0023	草加市谷塚町 1336-2	℡048-927-1101	㉘栄 町 支 店	〒332-0017	川口市栄町 1-12-21-101	℡048-254-0121
⑩芝前川支店	〒333-0848	川口市芝下 3-37-26	℡048-267-6543	㉙榛 松 支 店	〒334-0062	川口市榛松 1-16-8	℡048-285-8855
⑪足 立 支 店	〒121-0075	足立区一ツ家 2-10-15	℡03-3850-9911	㉚柳 崎 支 店	〒333-0861	川口市柳崎 3-10-32	℡048-261-6311
⑫埼玉大通支店	〒338-0823	さいたま市桜区栄和 3-13-10	℡048-854-1141	㉛差 間 支 店	〒333-0815	川口市北原台 3-21-28	℡048-294-8050
⑬朝日 支 店	〒332-0001	川口市朝日 2-27-13	℡048-225-1811	㉜吉 川 支 店	〒342-0036	吉川市高富 1-14-17	℡048-981-6622
⑭越 谷 支 店	〒343-0806	越谷市宮本町 1-166-3	℡048-965-2821	㉝木 崎 支 店	〒330-0042	さいたま市浦和区木崎 2-31-27	℡048-833-2711
⑮江戸袋支店	〒334-0075	川口市江戸袋 1-12-1	℡048-285-3611	㉞桶 川 支 店	〒363-0023	桶川市朝日 3-20-2	℡048-772-6611
⑯戸塚支店	〒333-0802	川口市戸塚東 3-3-1	℡048-296-2211	㉟神 根 支 店	〒333-0832	川口市神戸 787-1	℡048-282-6611
㉑八 潮 支 店	〒340-0808	八潮市緑町 5-12-7	℡048-995-1121	㊱安 行 支 店	〒334-0051	川口市安行藤八 480-2	℡048-298-2011
㉒戸 田 支 店	〒335-0011	戸田市下戸田 2-31-1	℡048-446-1311	㊲東越谷支店	〒343-0023	越谷市東越谷 6-115-2	℡048-963-3821
㉓飯 仲 支 店	〒332-0015	川口市川口 6-5-39	℡048-256-7211				